

ID No.	1023
研究課題名	髄膜腫に対する効率的ながんウイルス療法の開発
研究代表者	札場 博貴 (大分大学・助教)
研究組織	
受入教員	藤堂 具紀 (東京大学医科学研究所・教授)
研究分担者	藤木 稔 (大分大学・教授)
	籾井 泰朋 (大分大学・助教)
	大西 晃平 (大分大学・助教・大学院生)
	井上 亮 (大分大学・教授)
研究報告書	
平成30年度東京大学医科学研究所共同研究申請書に示した通り、研究を進めた。悪性髄膜腫の細胞株に対しては、第三世代がん治療用HSV-1であるG47 Δおよび改良型G47 Δ(T-hTERT)の抗腫瘍効果が確認できた。また、患者検体からの新たな細胞株の樹立について、髄膜腫の細胞株は、血清培地、無血清培地共に、新たに複数株樹立が可能であった。本年度は本学実験施設改修のため、計画よりやや実験は遅れている。今後はリアルタイムセルアナライザーを使用し、殺細胞効果の検証を行うこととしている。	